

# 2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月13日

リミックスポイントは規制緩和や法令改正など  
社会が変化するタイミングで生じる課題を事業を通じて解決する企業です



エネルギー事業



金融関連事業

remixpoint



その他事業

# 2022年3月期 業績概要

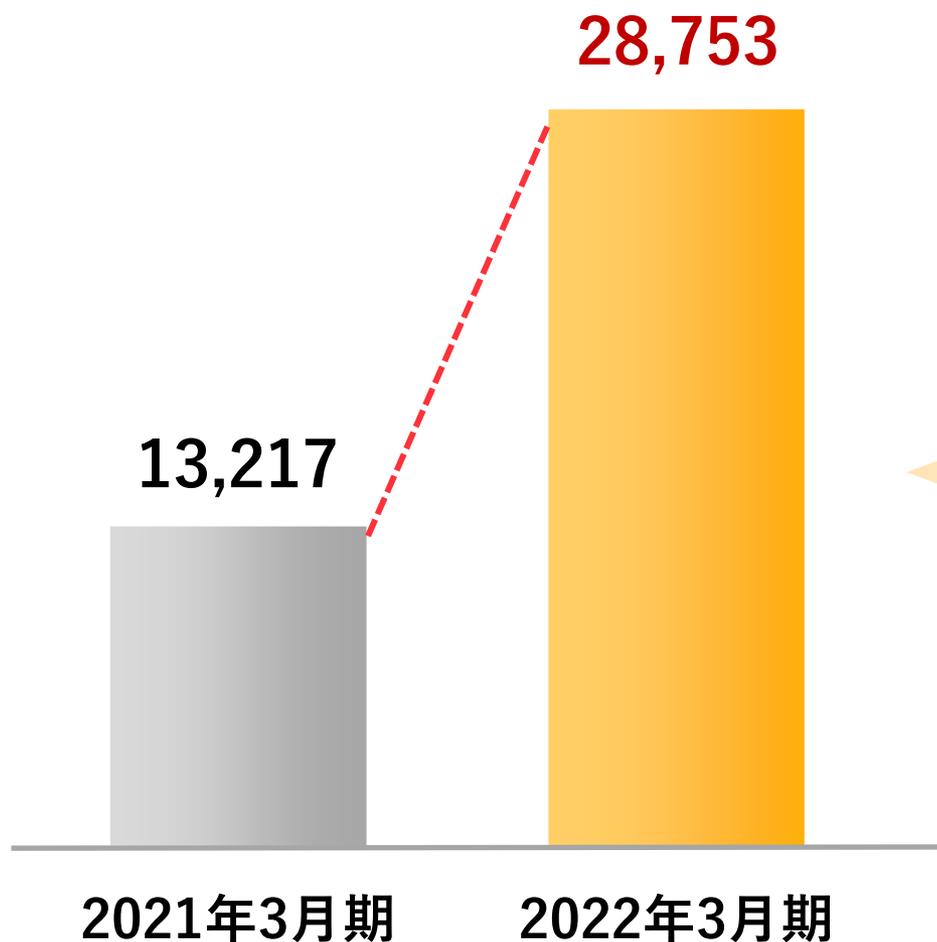
## エネルギー事業、金融関連事業共に業績予想を大幅に上回る収益結果となった

(百万円)

		2022年1月5日開示 業績予想	2022年3月期実績	増減
売上高	合計	27,387	28,753	+1,366
	エネルギー事業	11,923	12,672	+748
	金融関連事業	10,690	10,767	+77
	自動車事業	3,867	4,542	+674
	レジリエンス事業	854	700	▲154
	その他	50	70	+19
営業損益	合計	6,320	8,205	+1,884
	エネルギー事業	929	1,664	+735
	金融関連事業	6,373	7,612	+1,238
	自動車事業	20	19	▲1
	レジリエンス事業	▲139	▲228	▲88
	その他	▲863	▲862	+1

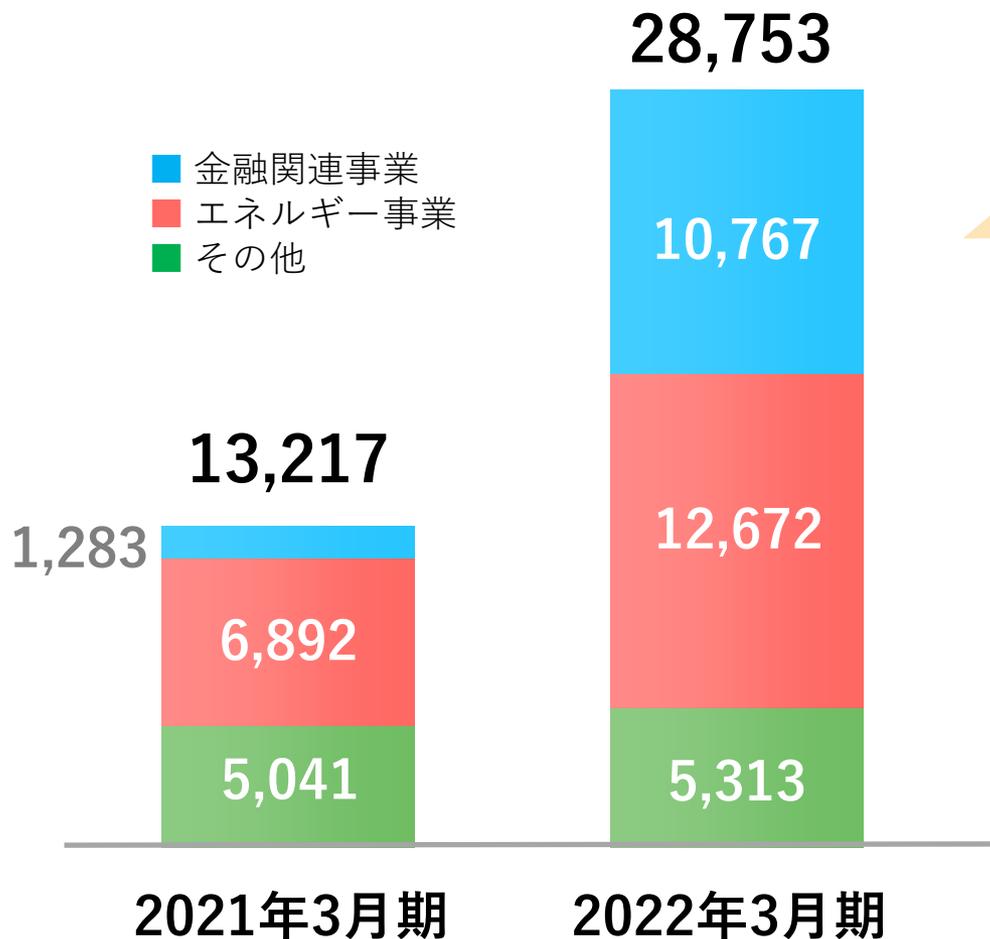
## 連結売上高

(百万円)



前年同期比  
217.5%

(百万円)



## 主要なセグメントにおいて増収

### Topics

#### ■ 金融関連事業

日本初の暗号資産の取扱いを増やし、口座数及びアクティブユーザー数が順調に伸長したこと等による

#### ■ エネルギー事業

高圧需要家に関しては容量市場を見越して需要コントロールを行いながらも、電源調達の可能な範囲内で低圧需要家の獲得に注力し、電力供給先を伸ばした

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業が含まれております。

(百万円)

8,205

▲2,888

2022年3月期

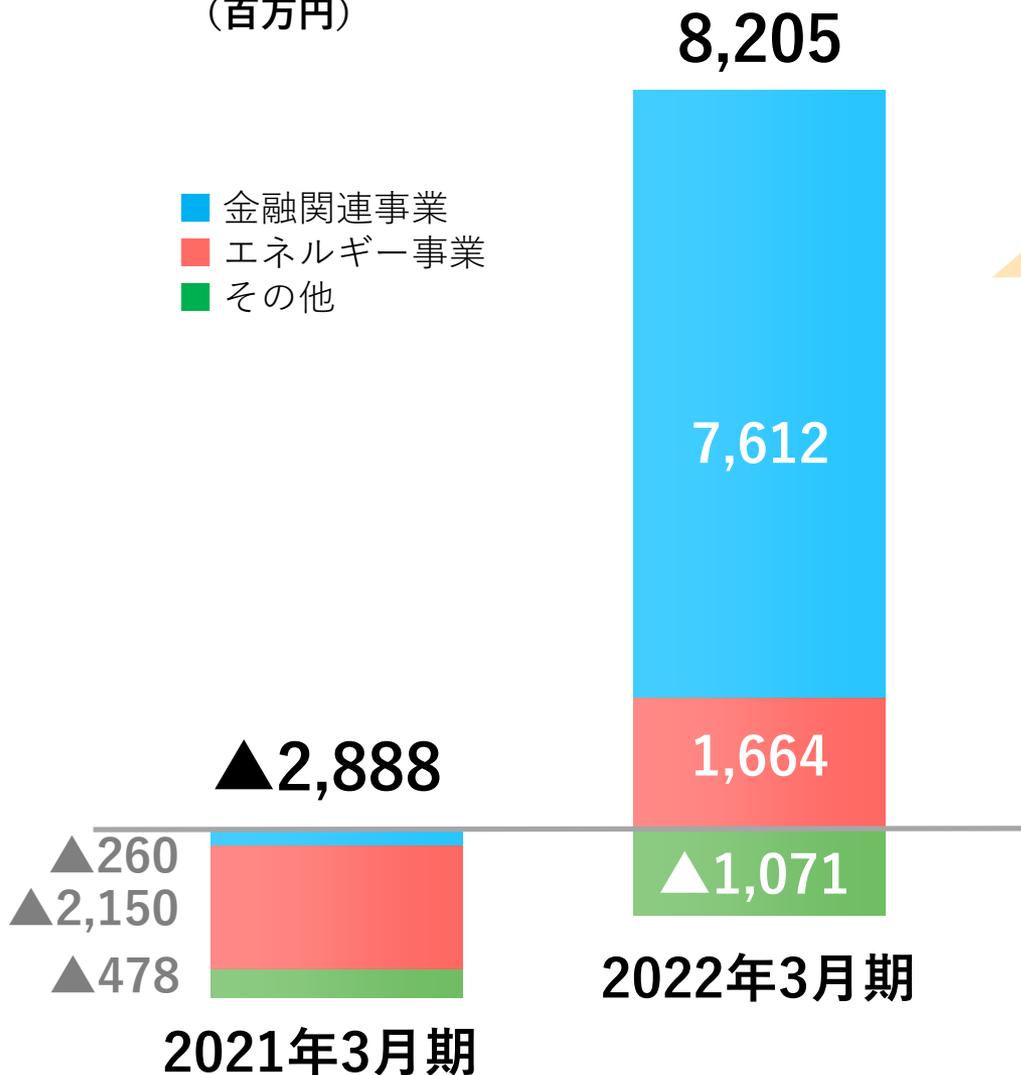
2021年3月期

前年同期比  
+ 110億円

# セグメント損益

(百万円)

- 金融関連事業
- エネルギー事業
- その他



エネルギー事業・  
金融関連事業で  
大幅な増益

## Topics

### ■ 金融関連事業

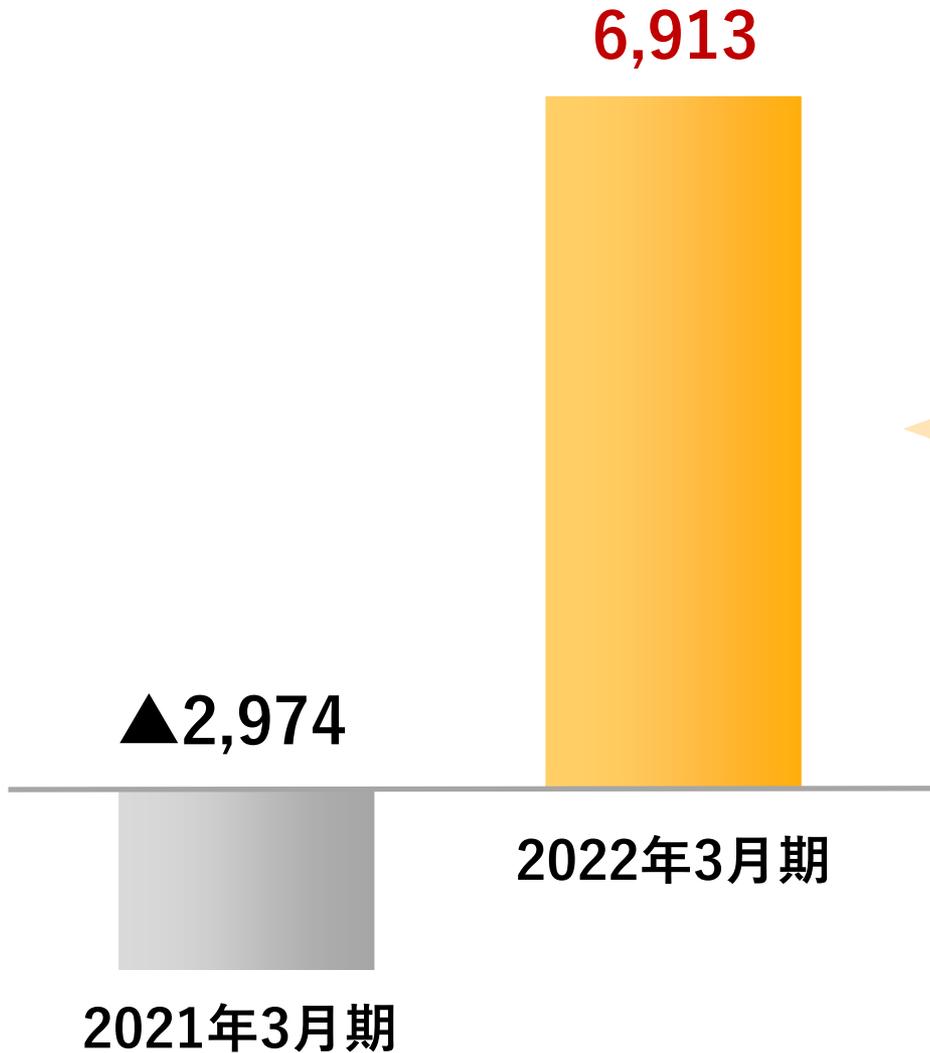
収益性が高い販売所の出来高が大きく伸長したことで大幅な増益に

### ■ エネルギー事業

需要家の消費電力量が増加する一方、電力調達における価格高騰リスクに対し適切にヘッジを行ったことで、利益確保

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業、全社経費が含まれております。

(百万円)



前年同期比  
+98億円  
大幅に伸長

## 2022年3月期は全ての四半期において収益を計上することができた

(百万円)

		2021年3月期（前期）				2022年3月期（今期）			
		4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)	4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)
売上高	合計	2,178	2,640	3,415	4,982	4,300	6,193	9,909	8,350
	エネルギー関連事業	1,228	1,576	1,565	2,521	2,430	3,691	3,234	3,316
	金融関連事業	45	▲3	471	770	696	1,309	5,351	3,409
	その他	904	1,067	1,378	1,691	1,173	1,191	1,323	1,624
営業 損益	合計	▲325	▲421	▲157	▲1,984	401	794	4,010	2,998
	エネルギー関連事業	190	11	▲98	▲2,253	444	264	▲206	1,162
	金融関連事業	▲320	▲407	100	367	208	820	4,403	2,179
	その他	▲26	134	0	81	▲50	▲75	12	▲81
	セグメント調整額	▲169	▲158	▲158	▲180	▲200	▲214	▲198	▲261
経常損益	▲328	▲419	▲164	▲1,979	386	802	3,992	2,991	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲289	▲518	▲161	▲2,005	342	630	3,171	2,769	

# 連結貸借対照表推移

(百万円)

		2021年3月31日現在	2022年3月31日現在	増減
資産の部	現金及び預金	2,895	4,896	2,000
	売掛金及び契約資産	1,516	1,971	455
	商品	264	251	▲12
	利用者暗号資産	32,724	46,097	13,372
	自己保有暗号資産	3,488	6,140	2,652
	預託金	3,890	6,709	2,819
	差入保証金	743	2,493	1,749
	その他	520	2,587	2,066
	流動資産計	46,043	71,147	25,103
	固定資産計	1,513	1,821	308
	資産合計	47,556	72,968	25,411
負債の部	買掛金	3,041	638	▲2,403
	預り金	3,744	6,569	2,824
	預り暗号資産	32,724	46,097	13,372
	借入暗号資産	1,844	2,028	184
	その他	1,880	3,520	1,640
	負債合計	43,233	58,853	15,619
純資産の部		4,322	14,114	9,792
負債・純資産合計		47,556	72,968	25,411

※「自己保有暗号資産」には差入保証暗号資産が含まれております。なお、「自己保有暗号資産」はカバー先でヘッジが出来ているため、暗号資産価格が下落をしても損失を被ることはありません。

## 上限20億円規模の自己株式取得と2023年3月期末において2円の配当を実施

### 自己株式取得

# 上限20億円

- 取得する株式の総数  
400万株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.44%）
- 株式の取得価額の総額  
20億円（上限）
- 取得期間  
2022年7月4日～2022年9月30日
- 取得方法  
東京証券取引所における市場買付

### 配当

# 1株2円

- 2023年3月期末の配当予定額です
- 2022年3月期末においては、連結財務諸表では親会社株主に帰属する当期純利益6,913百万円を計上したものの、当社個別貸借対照表には繰越欠損金が4,627百万円残っていることから、剰余金の配当を見送らせていただきます。

※いずれも2022年6月28日開催予定の第19期定時株主総会において、「資本準備金の額の減少の件」が承認可決されることが条件となります。

### 2023年3月期につきましては、業績予想を非開示とさせていただきます

エネルギー事業においては、短期的には電力取引価格の動向、中長期的には脱低炭素化社会の実現に向けた電力システム変革による影響があります。

他方で、2022年5月12日公表の「SBIホールディングス株式会社との資本業務提携契約の締結、及び連結子会社の異動(株式の一部譲渡)並びに特別利益計上見込みに関するお知らせ」に記載の、SBIグループとの資本業務提携による2023年3月期連結業績に与える影響については、現時点で合理的に算定することが困難な状況にあります。

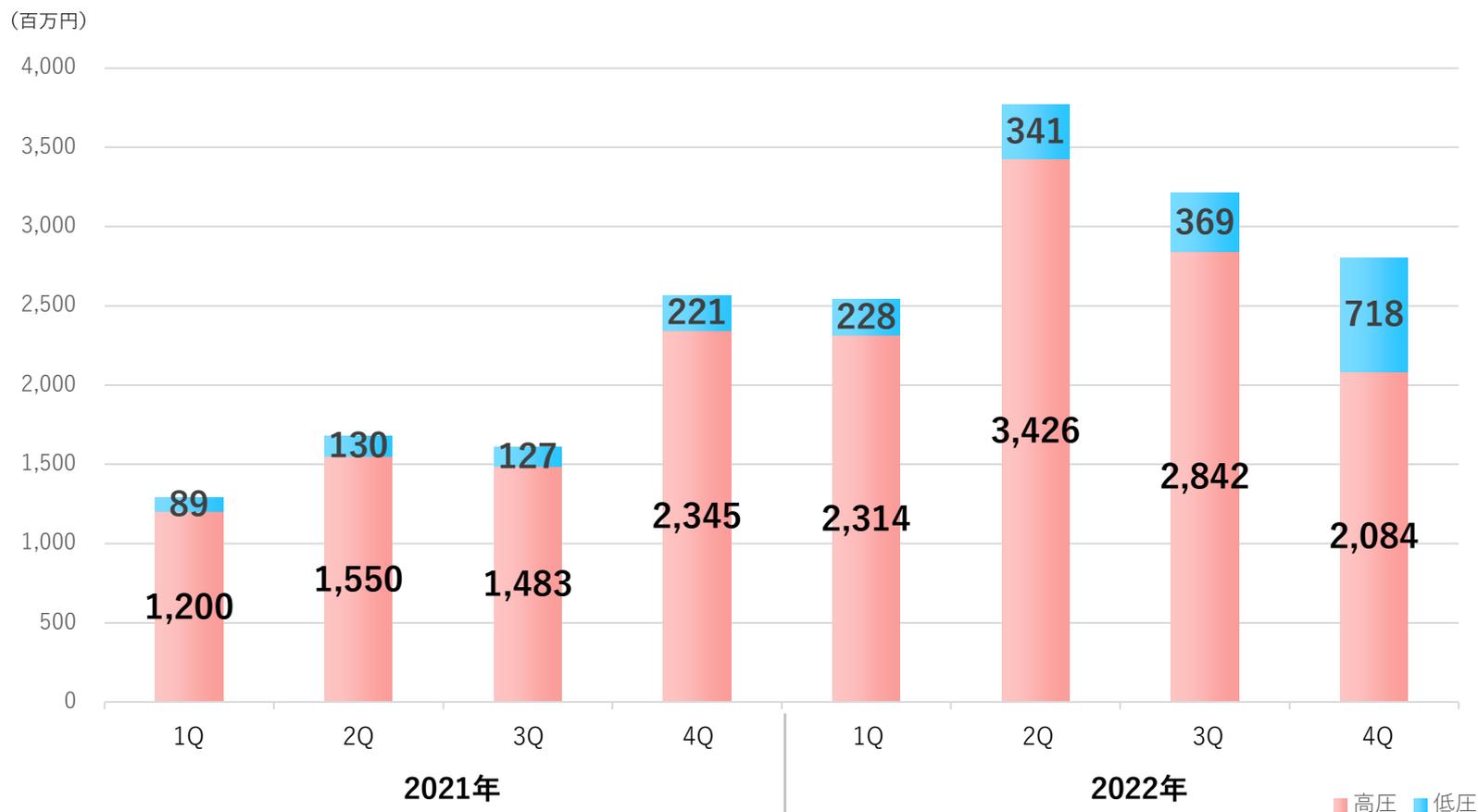
今後、2023年3月期連結業績予想につきまして、合理的な算定が可能となった時点において、速やかにお知らせいたします。

# 2022年3月期 主な事業別トピックス



収益を確実に確保するために高圧需要家の需要コントロールを行う。  
 低圧需要家は継続して拡大を行った。なお、売上比率としては高圧が80%程度を占める

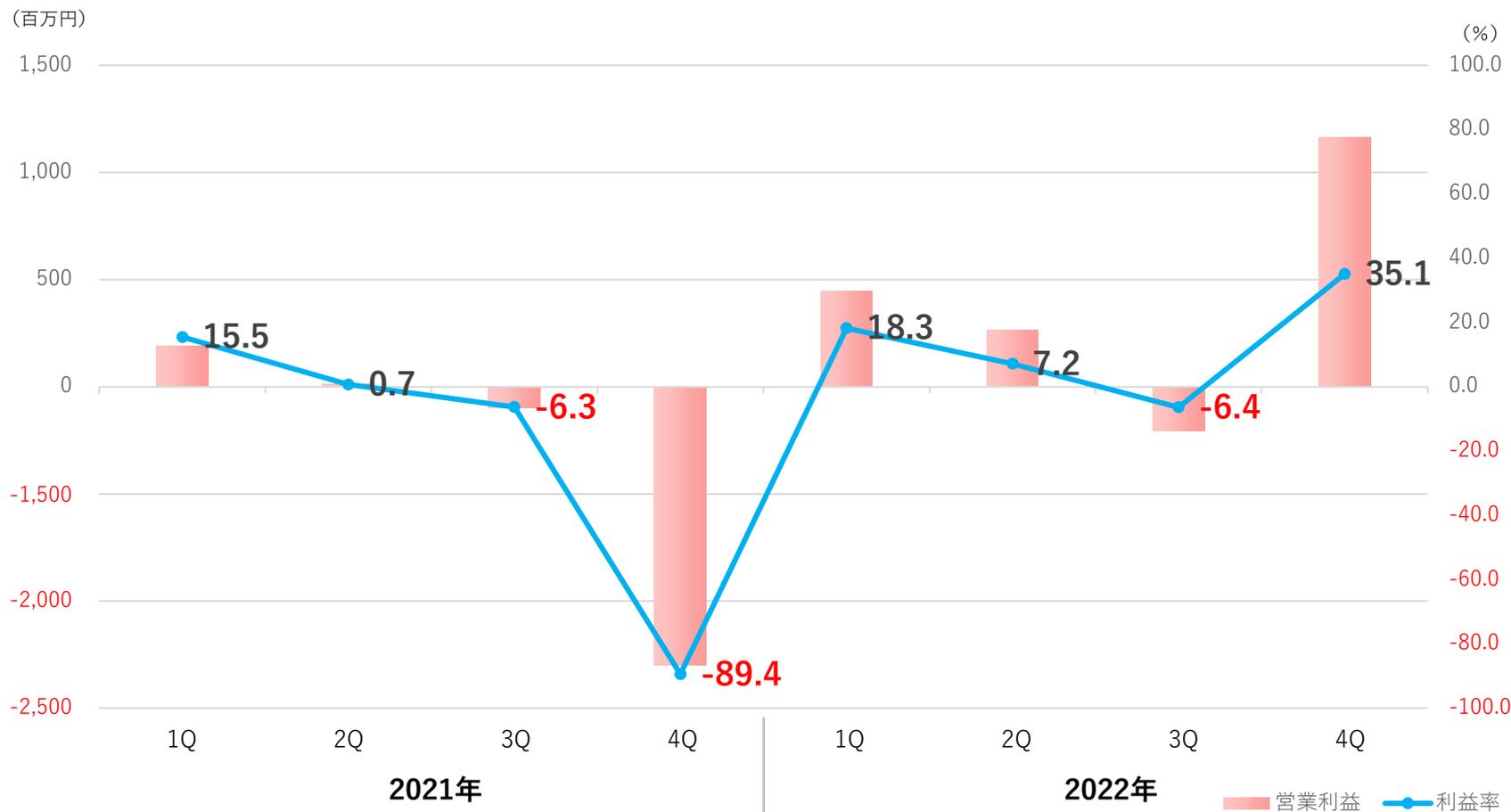
高圧需要家・低圧需要家別の売上推移





前期のJEPX価格異常高騰を除けば、年間を通じて一定の利益率を確保できている

四半期毎営業利益推移



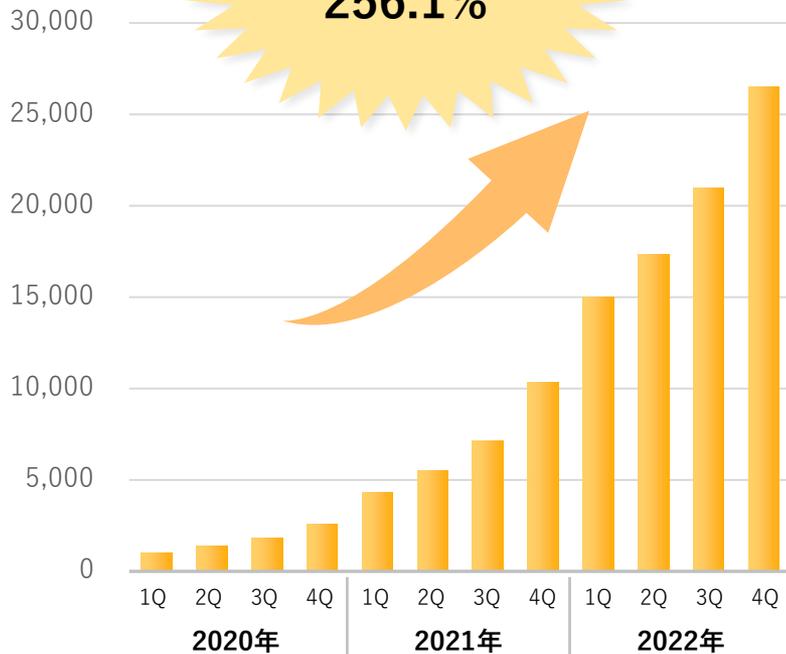


低圧市場本格参入後、低圧需要家の契約口数は**25,000口超**となり、順調に伸長

低圧需要家獲得状況推移

■ 契約口数

(施設)



■ 使用電力量

(kwh)

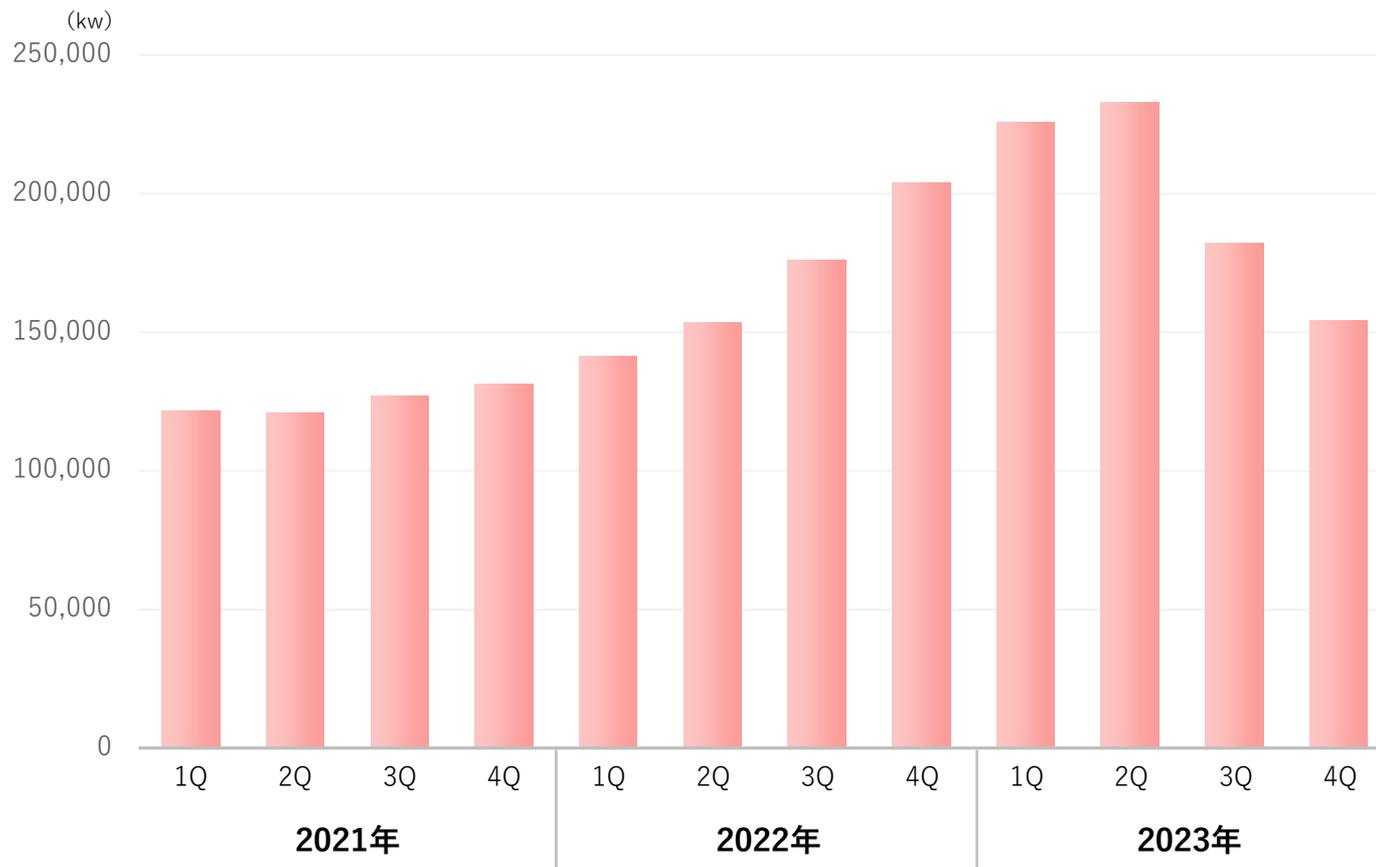


※現在は低圧需要家向けプランの新規申込を一時停止しております。



高圧については容量市場への対応のため、顧客ポートフォリオの再編を推進

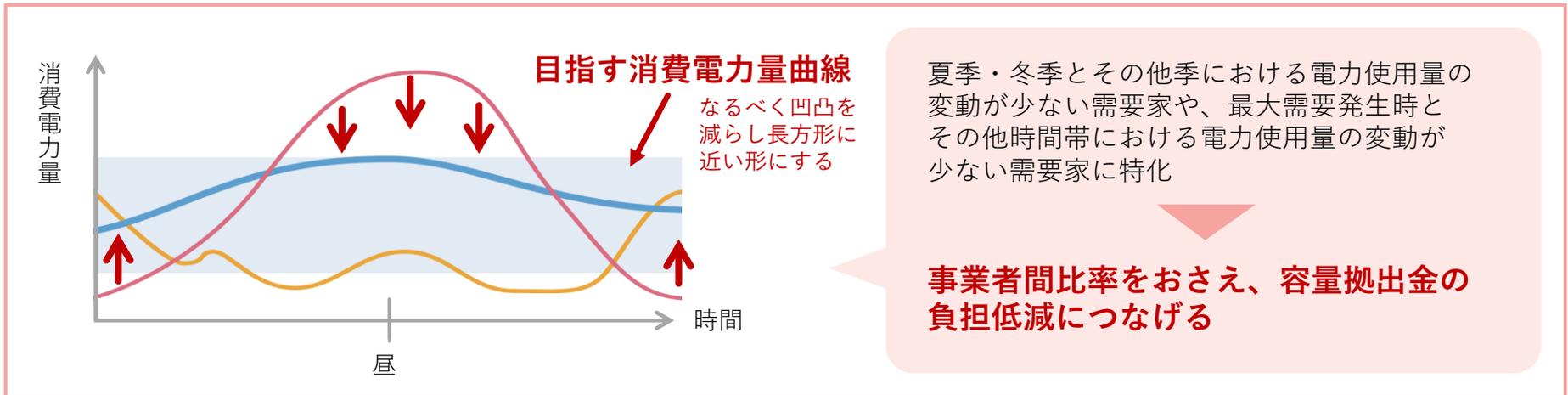
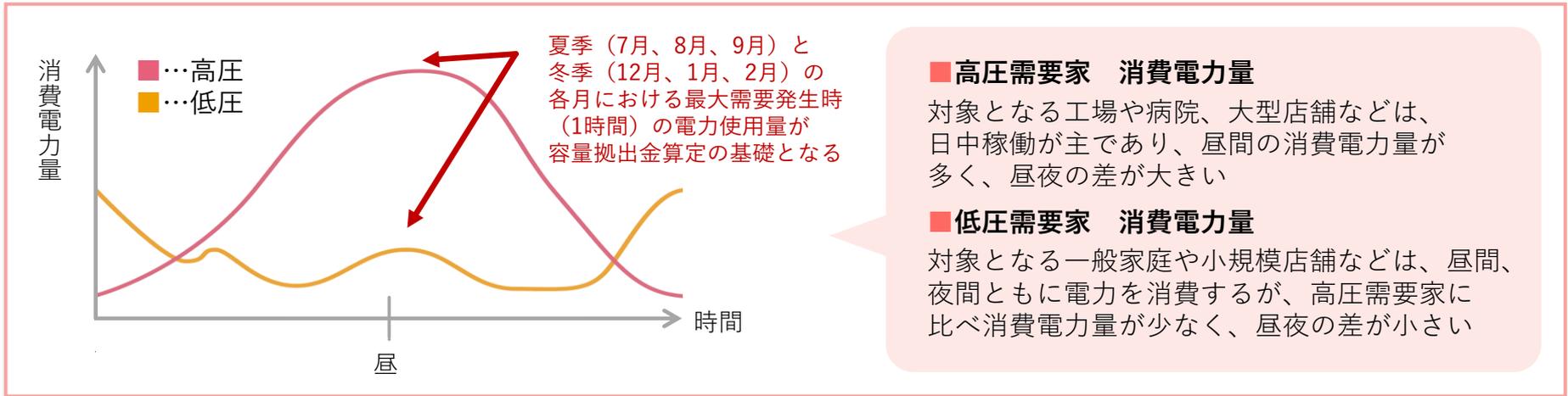
高圧需要家の契約総容量推移



※容量市場および当社の対応につきましては、本資料P.16をご参照下さい。



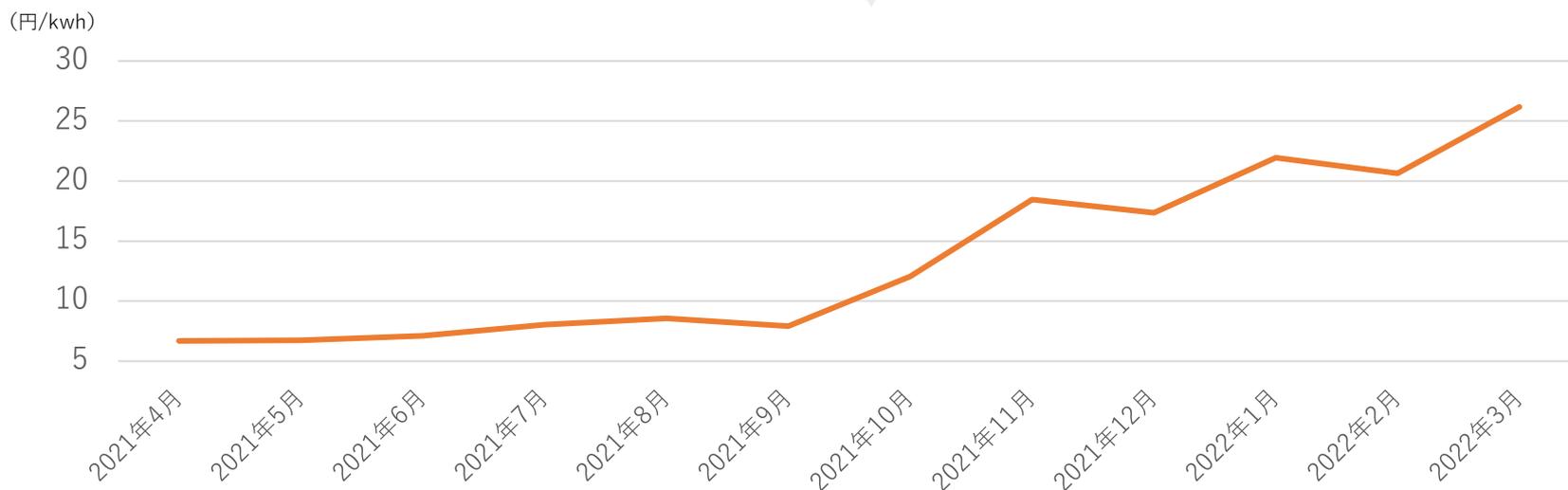
## 最大需給量を基に容量市場負担金が決定する容量市場への備えを推進





## 2021年10月以降のJEPX価格上昇に対し、電力先物を活用し収益を確保

2021年10月からJEPX電力卸価格が高騰しており、1月以降は1kwhあたり20円～30円程度まで上昇した。



出典：JEPX 取引情報：スポット市場・時間前市場

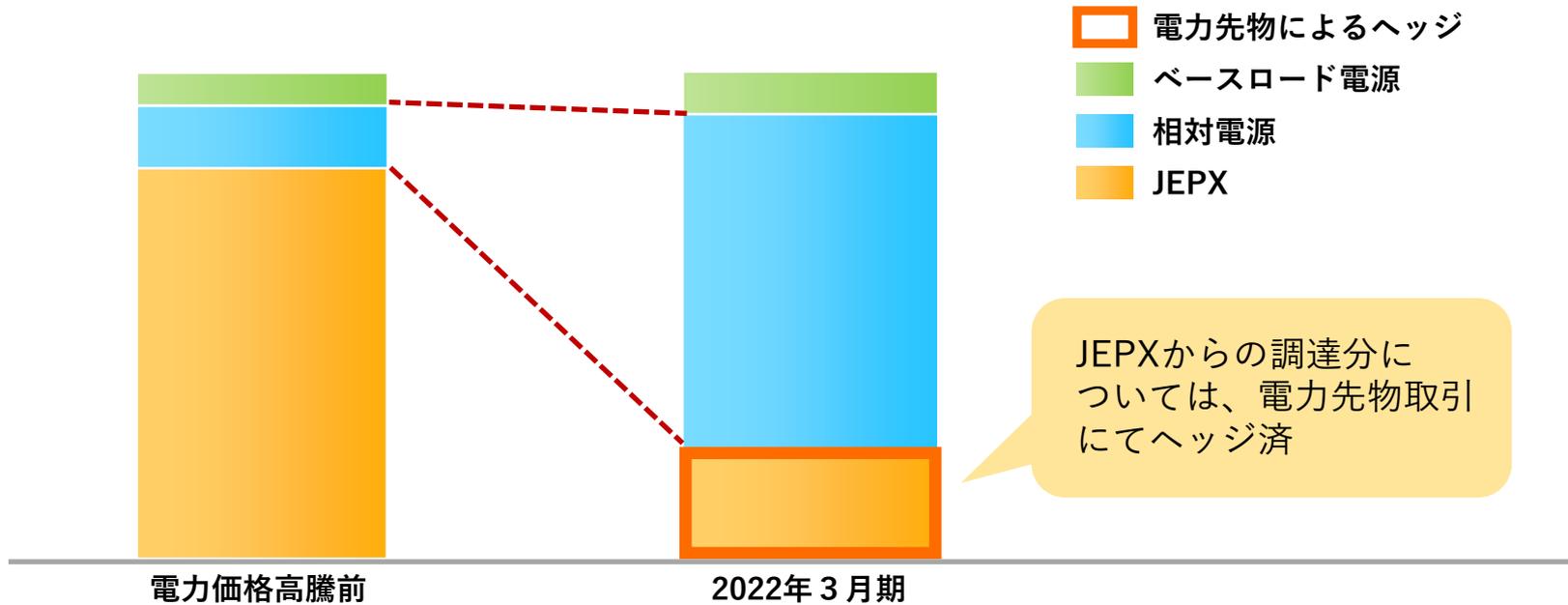
当社では10月に市場価格が上昇し始めたタイミングで、いち早く電力先物を活用して10月～3月のJEPX調達価格をカバー



**収益確保につながった**



2023年3月期においても、既に年間必要電源の80～90%を調達済



- 2021年1月のJEPX市場価格高騰を踏まえ、相対電源比率を増加
- 電力先物取引を活用し、JEPXからの電力調達価格を固定化
- 2021年度分ベースロード電源を各エリアで調達し、主に低圧需要家向けに供給中



電力小売事業で培ったノウハウ、顧客網を活かし、新たな収益源を創出

## リミックスでんき

### 電力小売

独自の料金体系で  
リスク排除し、  
収益確保

### 顧客リレーション強化

電力小売のお客様  
に、新サービスを  
展開・収益化

### 再エネ開発

再エネ発電所の  
開発、PPAの  
提供拡大

安定した収益の実現

強みを活かし、さらなる事業成長へ  
PPAや再エネ事業等、新たな取り組みも検討



## お客様の省エネサポートに繋がるサービスの導入

2022年6月より、リミックスでんき高圧電力を利用いただくすべてのお客様に、電力の見える化システム「エナッジLite」を導入予定（無料で提供）

### 1. 『エナッジLite』

#### 電力見える化 エネルギーマネジメントシステム



- エネルギーの一元管理
- 未来の使用量予測とデマンド把握

#### エネルギーインサイトレポート& WEBセミナーなどでのナレッジ共有



- 自施設のエネルギー課題の把握
- エネルギー業界の最新動向や、他社取組情報の把握

### サービスの概要

- エネルギーの一元管理、見える化
- 未来の電気使用量を予測
- デマンドピーク時間帯を簡単把握
- 電力使用のムダ・ムラの見える化

お客様の電力使用状況を見える化し、電力利用における課題を把握。省エネ、コスト削減につながるトータルエネルギーコンサルティングを行っていく予定です。

**有料オプションとして、高機能版「エナッジ」も提供予定**



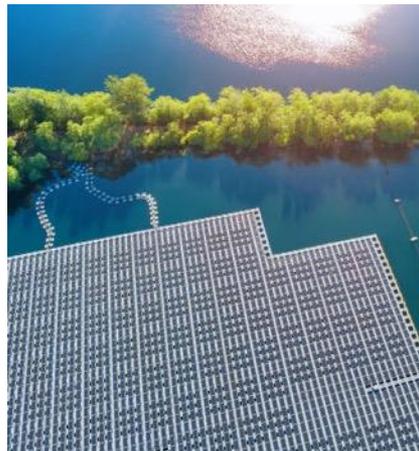
## 再エネ発電所の開発を予定（2022年度中）

電力調達価格上昇を機に、自社での再エネ発電所開発を本格検討中。  
参入余地、収益性の観点から野立て太陽光以外にも、様々なタイプの発電所を開発予定

小水力発電



水上太陽光発電



風力発電



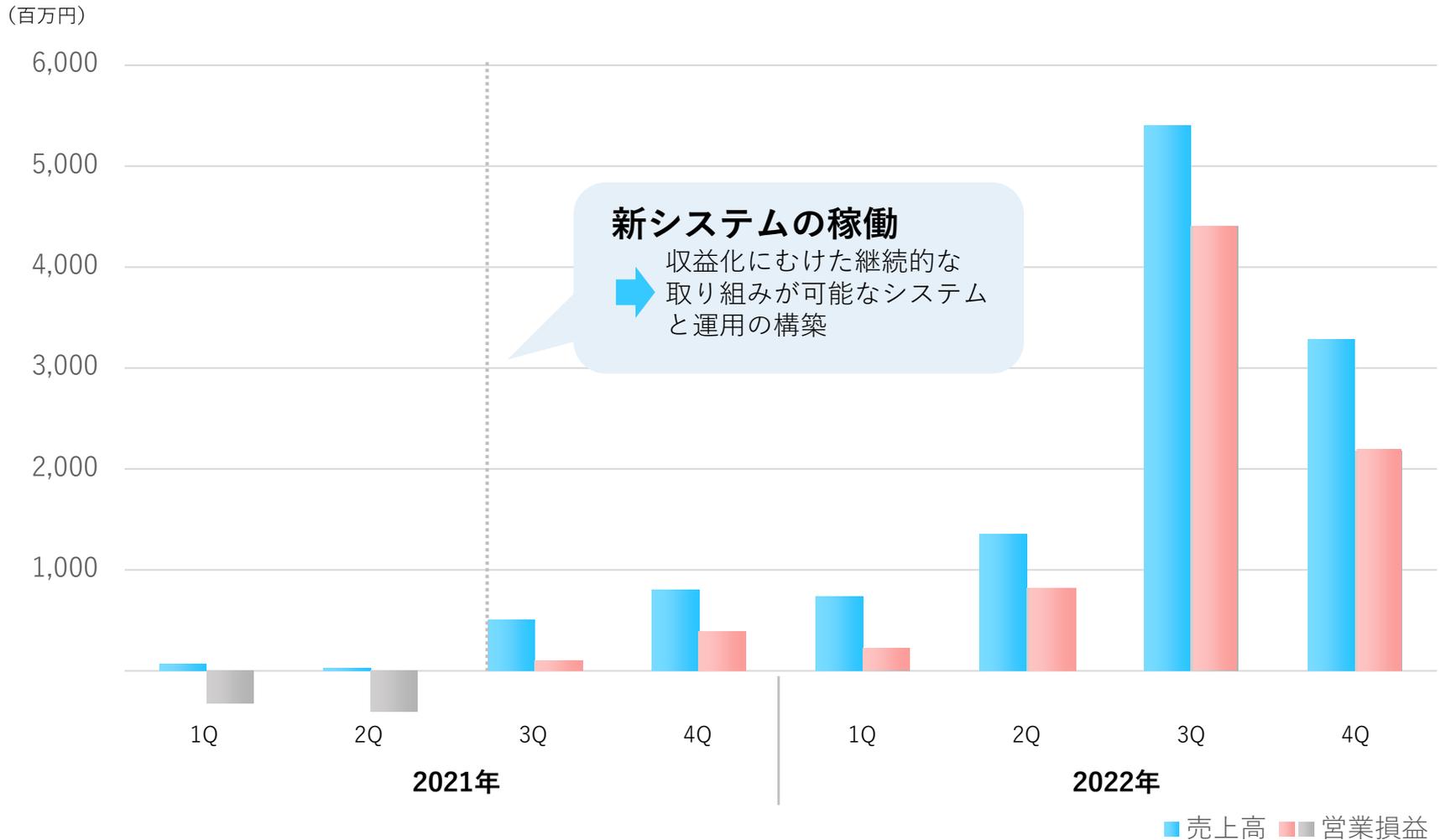
バイオマス発電



発電した電力はリミックส์でんき需要家様への販売とFIT売電を予定。  
脱炭素社会実現に貢献できる環境価値付き電力を生み出していく。



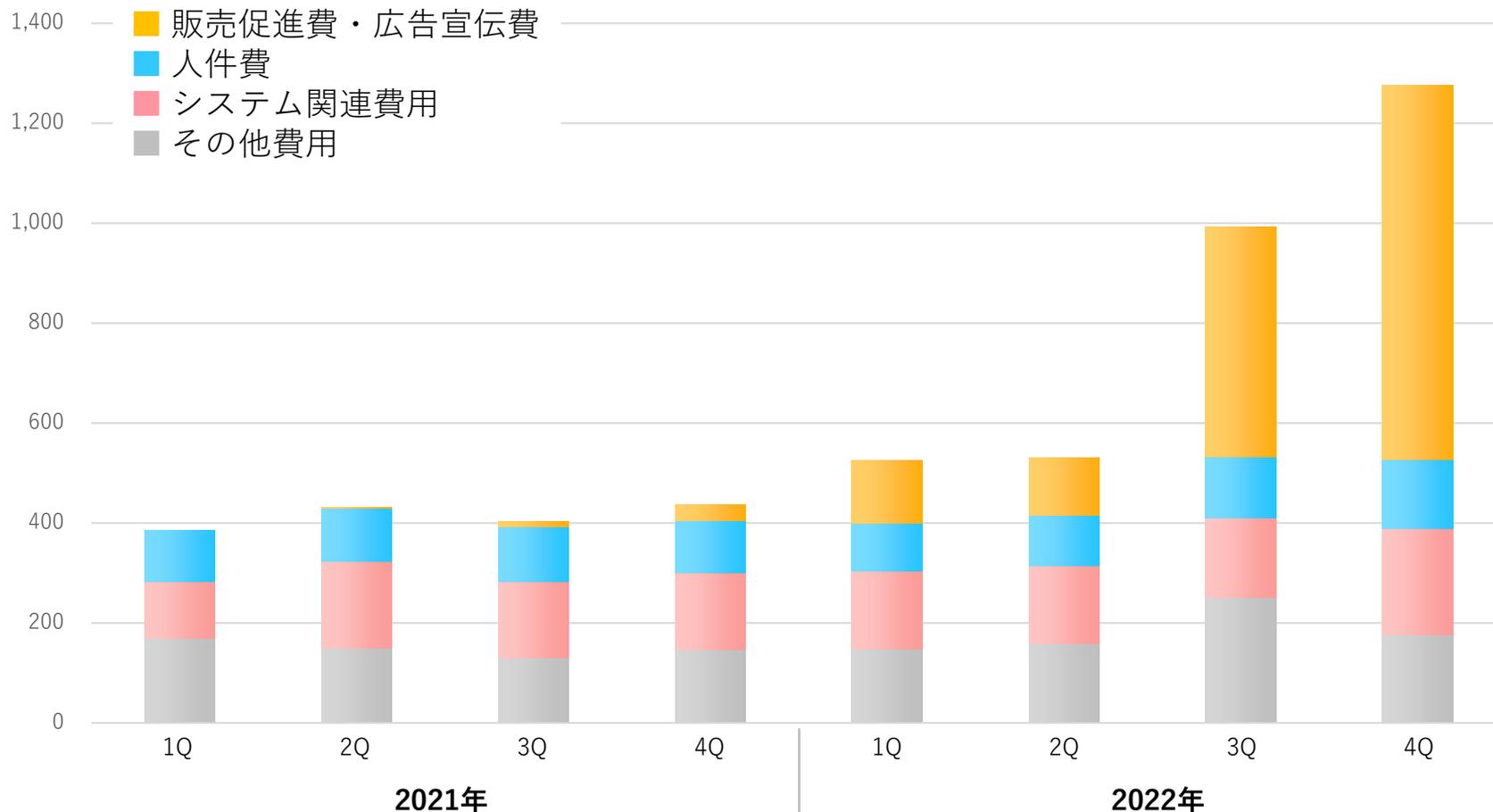
2022年3月期3Qおよび4Qは国内暗号資産取引業者で**業界トップ**の収益を実現





適切なコストコントロールの結果、一時的に発生した販促費・広告宣伝費を除いた通常固定費用は月1.2億円に抑えており、高い収益を実現

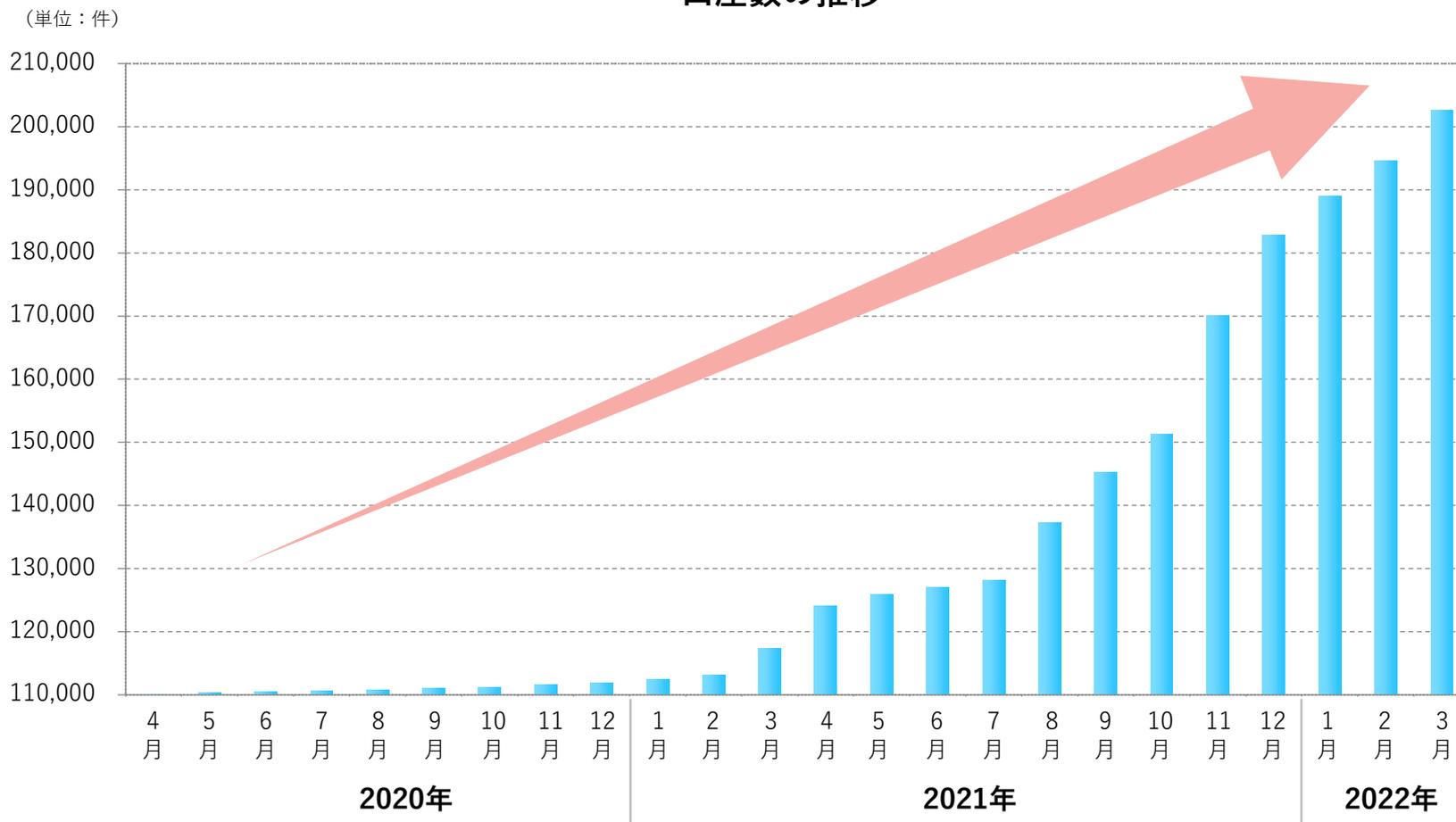
(百万円)





積極的な販促活動により口座数は順調に増加し、顧客層に広がりを見せている

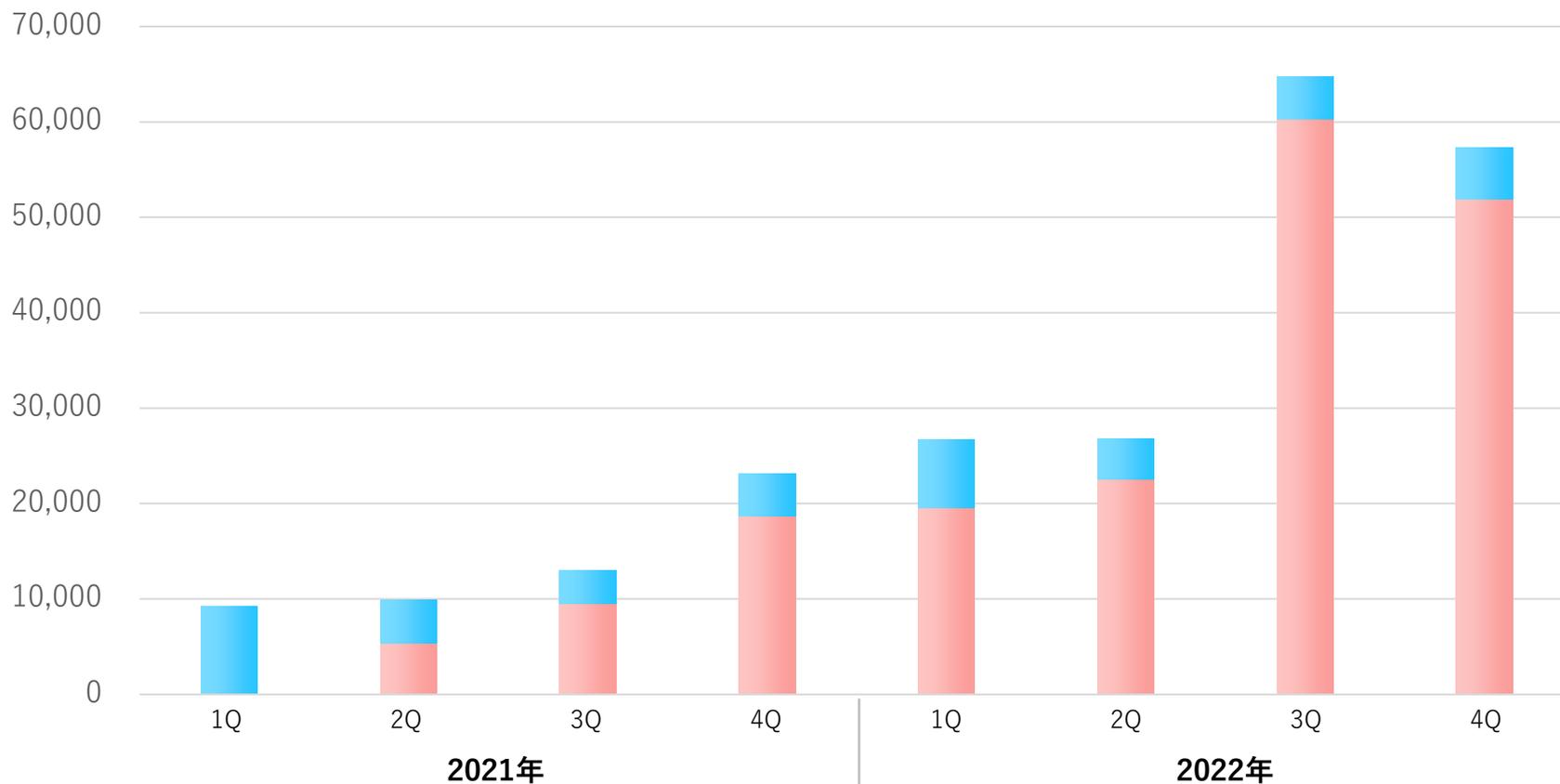
口座数の推移





前年同時期に比べアクティブユーザー数は**約2.5倍**へ増加

アクティブユーザー数の推移



■ アクティブユーザー (全体) ■ アクティブユーザー (販売所)



業績好調の主な要因



新システムが稼働し、安定的に収益を確保することが可能になったこと



販売所のアクティブユーザーを多く確保することができたこと



選択と集中により、販売所に経営資源を特化したことで、固定費用をコントロールすることができたこと



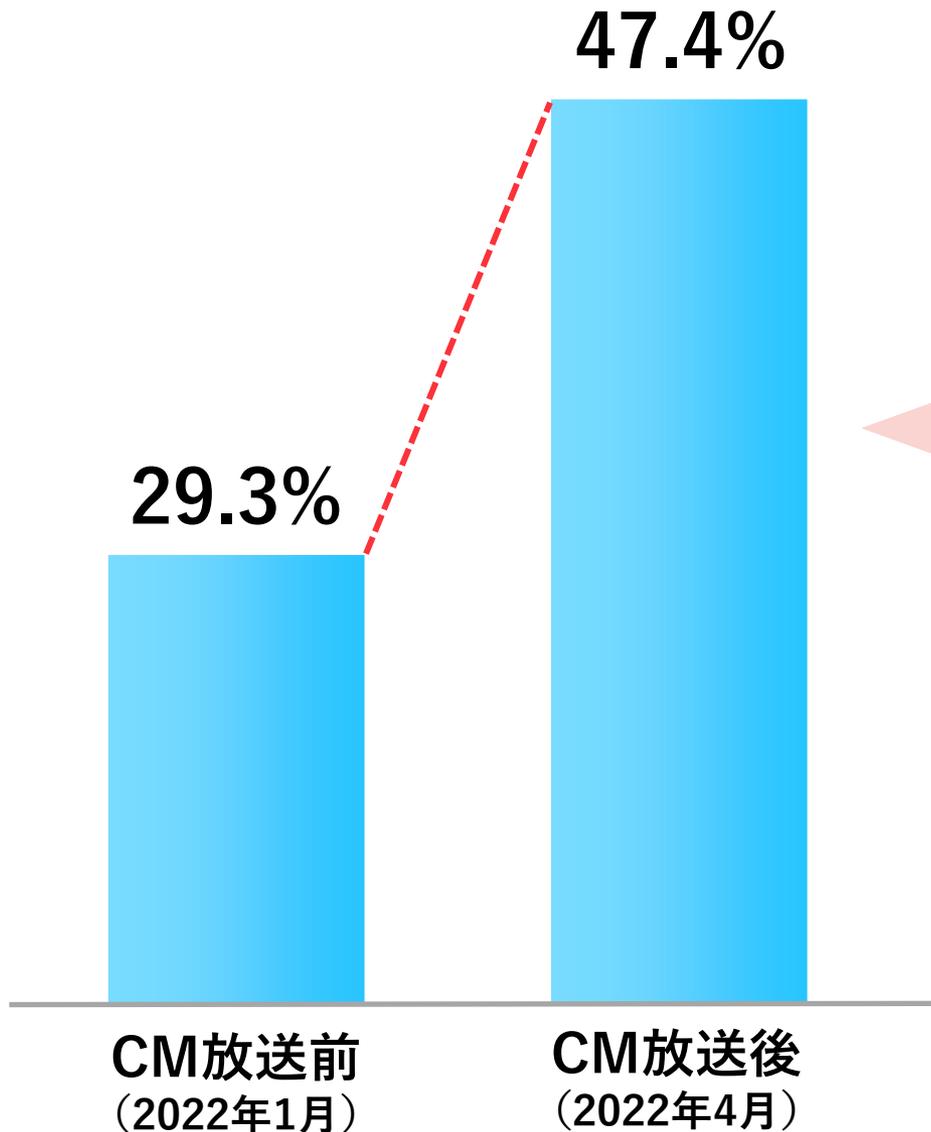
日本初取扱いの暗号資産を複数上場したこと



BIGBOSS 新庄剛志さんをBITPOINTのブランドアンバサダーに起用、出演TVCMを放送



※詳細につきましては、[「暗号資産取引所BITPOINTのブランドアンバサダーに“BIGBOSS”新庄剛志さんが就任！」](#) [「新庄剛志さん出演の「ビットポイント」TVCMを2022年正月三が日に全国で放送！」](#) [「ビットポイント、新庄剛志さん出演のTVCM第二弾を2月1日より全国で放映開始！」](#) をご参照ください。



テレビCM放送前に  
比べ認知度

**約160%**

CM好感度調査

**第1位**を獲得

出典：マクロミル社による認知度調査資料  
全国5エリア（関東・関西・中部・北海道・福岡）の20歳以上の男女700人（1月）1,000人（4月）を対象としたインターネットによる調査

出典：CM総合研究所による調査資料  
関東1都6在住の10,500人を対象としたアンケート調査（2021年12月20日～2022年4月4日） ※仮想通貨カテゴリにおける順位



暗号資産交換所「ビットポイント」に上場している通貨一覧



ビットコイン  
(BTC)



アイオーエステー  
(IOST)



リップル  
(XRP)



チェーンリンク  
(LNK)



ベーシック  
アテンショントークン  
(BAT)



イーサリアム  
(ETH)



ポルカドット  
(DOT)



ライトコイン  
(LTC)



ビットコイン  
キャッシュ  
(BCH)

日本初



2021年10月26日取扱開始  
ジャスミー (JMY)



2022年1月26日取扱開始  
ディープコイン (DEP)



2021年8月25日取扱開始  
エイダ (ADA)



ترون (TRX)



22年3月期においては、金融関連事業のうち、  
4.5億円が暗号資産やブロックチェーン関連ファンドへの投資による収益  
残りについては進行期以降に収益計上予定

当社出資先

Gumi  
Cryptos

B CRYPTOS

BLOCKTOWER

当社出資先の投資先（一部）

OpenSea

ASTAR

THETA

Qredo

YIELD  
GUILD

linch  
EXCHANGE

VEGA



当社オリジナル家庭用蓄電池「remixbattery」は、世界的な半導体不足の影響もあり、販売延期となっていたが徐々に卸販売を開始

# remixbattery

## 住宅用蓄電システム



電気を貯めて、上手に使う。

※詳細につきましては2021年5月31日付「[リミックスポイント オリジナルブランドの住宅用蓄電池「remixbatteryハイブリッド型蓄電システム」販売決定！！](#)」ご参照ください。



## レジリエンス事業とエネルギー事業のシナジーを活かしたスキームを提案

### remixbattery

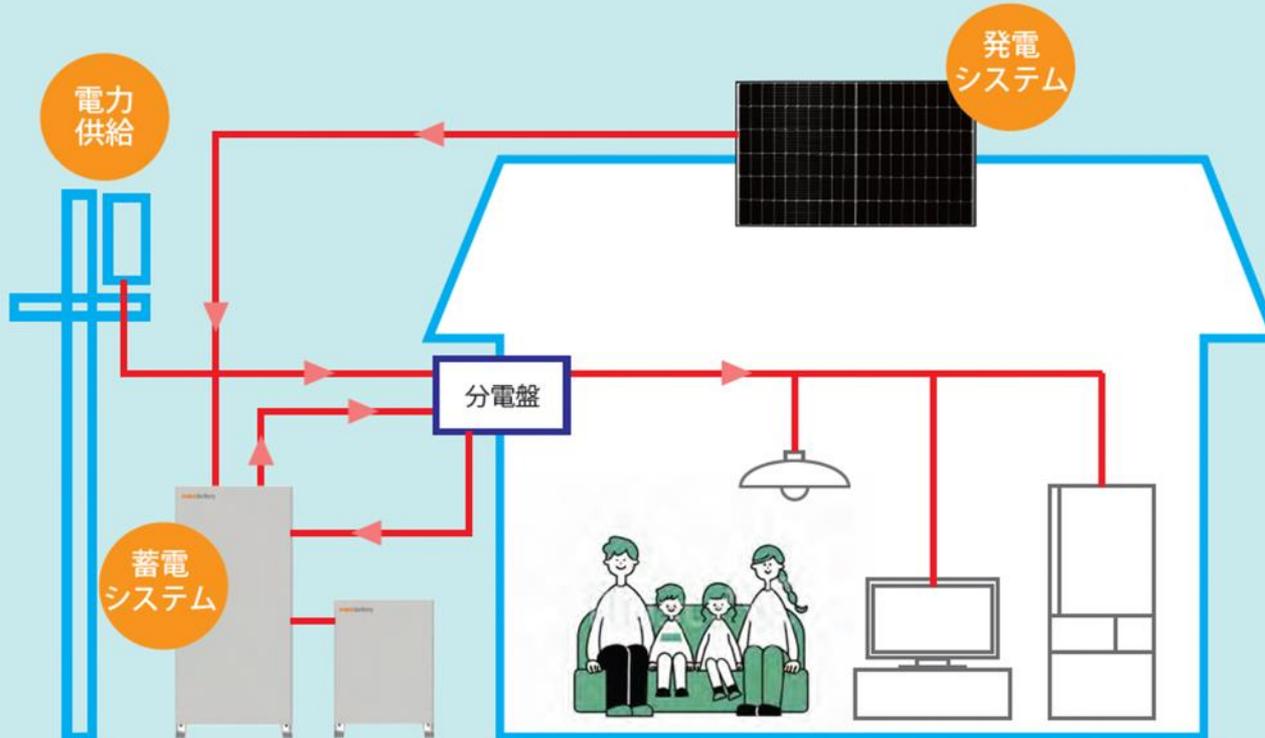
高性能・低価格なハイブリッド蓄電システムです。発電した電気を効率的に自家消費し、非常時にも安心な蓄電システムです。

### SUNTECH

高出力で信頼性の高いセルを使用した太陽電池モジュールを開発。高効率な発電システムを安心の長期保証と共にお届けします。

### リミックスでんき

実績豊富で安定基盤を持つリミックスでんきが、All in One パッケージに最適でお得なプランで電気をお届けします。





MA-T SystemのOEM商品の開発、供給を強化。  
歯科医院での利用を想定した業務用マウスウォッシュや  
特殊清掃現場で使用する業務用消臭剤を開発、近日リリース予定。





## 自動車事業

高級外車を中心とした中古車のBtoB事業を展開



## 省エネコンサルティング事業

### ■ 補助金支援実績

採択件数：**542**件 申請件数：675件 採択率：**80**%（平成25年度補正予算～現在）

※令和3年度実績 採択件数：78件 申請件数：93件 採択率：84%

### ■ 登録等

- ・エネマネ事業者（令和3年度登録 ※平成26年度から8年連続登録）
- ・ZEBプランナー（ZEB30P-00019-C）
- ・脱炭素化促進計画策定支援事業支援機関（2022年度認定）



**2012年より商業施設を中心とした省エネルギー化などSDGsを推進**  
これまで培ってきたノウハウを結集し、多くの企業や自治体が  
**事業成長と省エネを継続的に進めるような取組みを支援していきます**



- 2030年までに年間最高12兆ドル（約1,300兆円）の事業機会がもたらされるとの試算あり（※2）
- 環境のためはもちろん、省エネ化を実現することが経営上もメリットが生じるような省エネ商材の提供やリース/割賦や補助金を活用したソリューションの提供
- EMS（※3）の導入および電力小売事業とのシナジーにより、需要側と供給側で電力需給を管理することで、余剰な電力供給を排除して顧客のエネルギーコストの削減も実現可能



- 激甚災害の発生に伴い、防災・減災に関する予算が増加傾向
- 特に病院、地方自治体、データセンター、港湾設備等では非常用発電機や蓄電池に対する需要が増加
- 当社グループ力を結集することで、補助金を活用した防災・減災商品の提供や被災時のWEB/サーバー環境の体制構築を含めた総合的なBCP策定をサポート

※1:SDGs : Sustainable Development Goals

※2:デロイトトーマツコンサルティング「SDGsビジネスの可能性とルール形成」（2017年12月）

※3:EMS : Energy Management System

SDGsにおいて自分たちで取り組めない目標については、目標に取り組んでいる団体を支援

## remixpoint



赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金

SECOND  
HARVEST

セカンドハーベスト ジャパン



セカンドハーベスト・ジャパン



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

公益財団法人  
海と渚環境美化・油濁対策機構

みんなでがんばろう日本

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

公益財団法人  
東日本大震災復興支援財団



REALs  
REACH ALTERNATIVES

特定非営利活動法人  
Reach Alternatives(REALs)

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

Chance for Children

公益社団法人  
チャンス・フォー・チルドレン

World Vision

この子を救う。未来を救う。

NGOワールド・ビジョン・ジャパン

unicef

公益財団法人 日本ユニセフ協会

公益財団法人  
日本ユニセフ協会



公益財団法人  
日本野鳥の会

公益財団法人  
日本野鳥の会

SBIグループとリミックスポイントグループの包括的資本業務提携を締結



- SBIホールディングスが市場買付けによりリミックスポイントの株式を約5%取得  
また、SBIファイナンシャルサービシーズがビットポイントの株式を51%取得（株式譲渡）
- エネルギー分野およびCrypto分野において包括的業務提携契約を締結し、両分野において日本トップのポジションを目指し、世界に向けた挑戦を行う

※詳細につきましては2022年5月12日付「[SBIホールディングス株式会社との資本業務提携契約の締結、及び連結子会社の異動（株式の一部譲渡）並びに特別利益計上見込みに関するお知らせ](#)」をご参照ください。

- ① 本資料に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。  
その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。